

# ☀️ とんちではない ☀️

エコでロスも減らし、地域経済にもいい太陽光パネル。目いっぱい増やしていきたいけれど、発電した電気は必ずしもその場所で使いきれないわけではなくて、余ってしまう電気がもったいないんだよね〜…。



1

あと、その場所で使い切れる分しか太陽光パネルを置かないってのも、もったいないよね〜…。電気が余ってしまっても、太陽光パネルを設置できない場所に届けられれば、おだわら再エネ電気ちゃんももっともって活躍できるのに…。



2

…(ポクポクポク)



3

誰かが中間地点で、取りまとめて上手いこと配分すればいいんじゃない!?

思ったよりザックリっ!

チーン!



4

## 「上手いことやる」新しいシステムとは

小田原市内では、約4万1千kW(2023年)の再エネ発電設備が設置済みです。小田原市では、太陽光発電を最大限増やすための様々な取り組みを進めながら、市内で発電され余った再エネ電気を**仲介者を通じて、「小田原産」の「再エネ電気」だからこそ欲しい人に販売する新しい仕組み**(市内電力地産地消プラットフォーム)を構築中です。

## キーワード

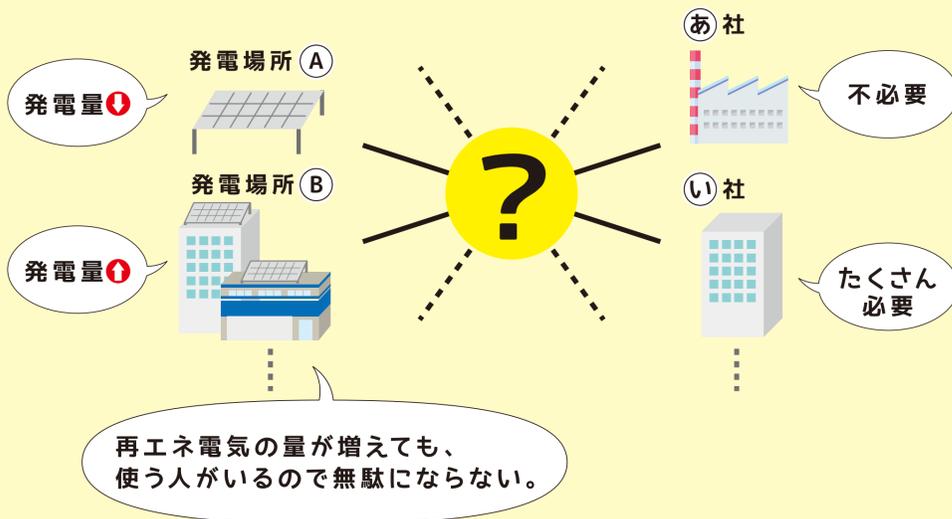
### 【エネルギーマネジメント】

つくった電気を貯めたりして使い時を調整したり、電化製品や電気を使う機器の運転を制御することで、**エネルギーを無駄にしないように最適化を図ること**。

1つの建物の場合



地域の規模の場合



# ☀️ 電気は流れるよ、小田原までも(?) ☀️

基幹 (特別高圧)  
ローカル (特別高圧)  
配電 (高圧・低圧)

♪ 電気はとおるよ  
電線の中

1

基幹 (特別高圧)  
ローカル (特別高圧)  
配電 (高圧・低圧)

♪ 基幹 (特別高圧) をこえ  
ローカル (特別高圧) をこえ  
配電 (高圧) をこえて

2

基幹 (特別高圧)  
ローカル (特別高圧)  
配電 (高圧・低圧)

♪ 遠くの配電 (低圧) まで  
小田原へ  
便利な電気を  
運んでる

3

基幹 (特別高圧)  
ローカル (特別高圧)  
配電 (高圧・低圧)

ココのエリア内で、  
再エネ電気を  
有効利用したい!

ココ! 小田原!

4

## 電気はどこから流れてくるの?

人間の血液が、心臓から血管を伝って、全身の細胞まで行きわたるように、電気も日本全国に血管のように張り巡らせた電線を流れて運ばれます。

これまで再エネ電気は顔の見えない誰かに供給されるのが一般的でしたが、**新しい仕組み (市内電力地産地消プラットフォーム)** では、小田原を流れる電線系統 (高圧・低圧) のエリアで発電された再エネ電気を集めて、小田原産の再エネ電気だからこそ欲しい人に供給する**“マッチング”**を行います。これは、エネルギーの最適化を図るエネルギーマネジメントを地域の規模にまで拡大したものです。

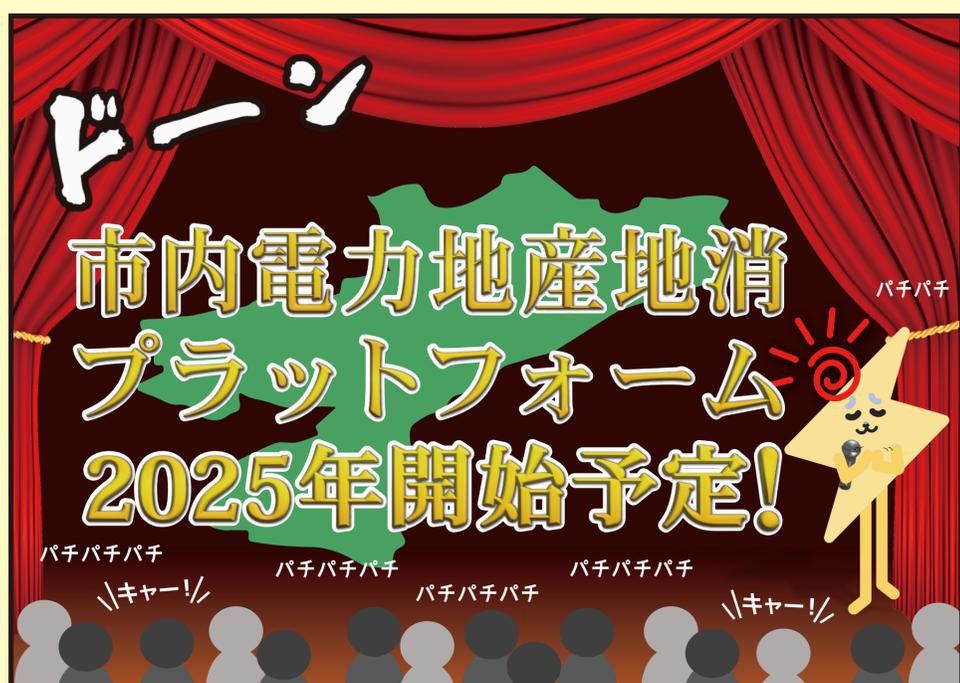
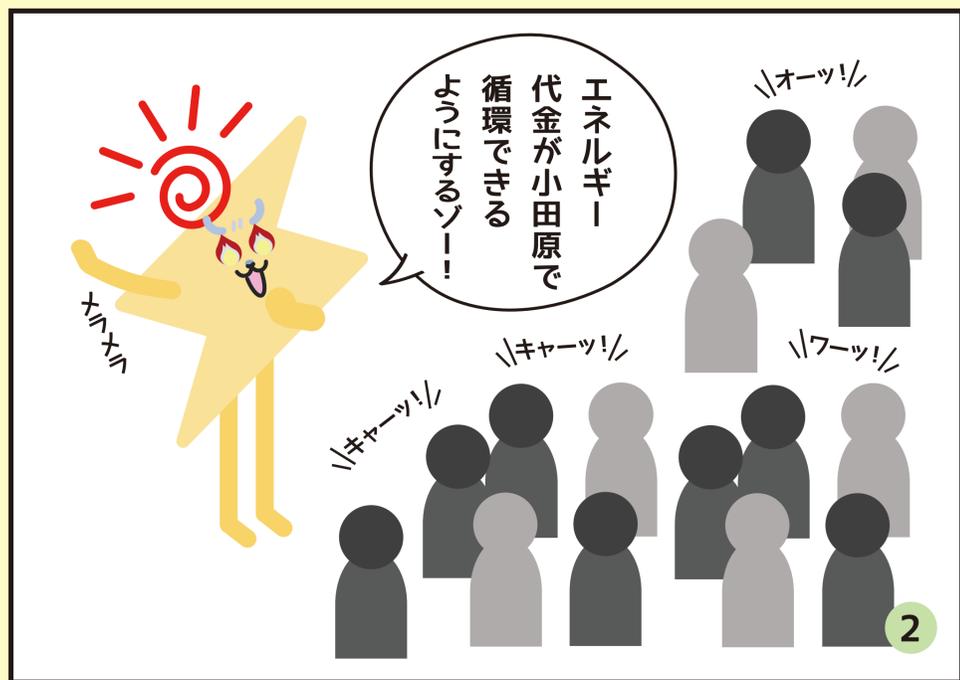
## キーワード

### 【電力系統】

効率的に電気を運ぶため、特別高圧、高圧、低圧と電圧を変えながら電源 (発電所) と消費者を結んでいます。



# ☀️ さらに役立つおだわら再エネ電気ちゃん ☀️



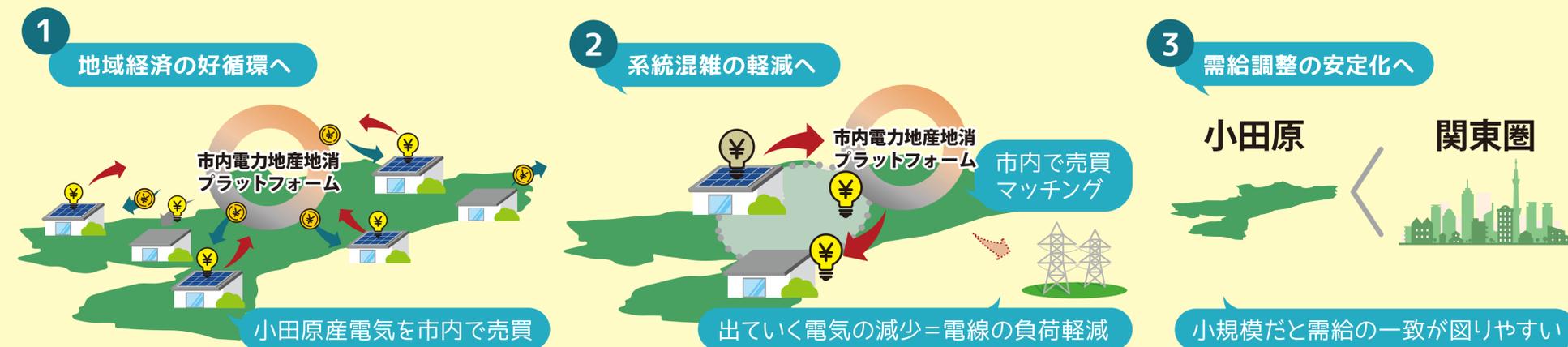
## みんなで作るプラットフォーム

市内電力地産地消プラットフォームによって、小田原産の再エネ電気を安定して無駄にせず使用できるようになり、また、さらに再エネ電気が増えていけば、エネルギー代金が市内で循環するようになります。

再エネ電気を地産地消するためには、まず小田原産の再エネ電気を増やすことが大事。だから、小田原市は、太陽光パネルの設置に補助金を出すだけでなく、市内のさまざまな発電者に、個別で支援をしています。再エネ電気の地産地消につながる新たな太陽光パネルの設置には、最大3分の2を補助。既に設置してある太陽光発電で余った電気も市内電力地産地消プラットフォームで活用予定です。詳しくは、ゼロカーボン推進課（☎ 0465-33-1424）まで。

### 【市内電力地産地消プラットフォーム】

市内電力地産地消プラットフォームによって電気に関するさまざまな課題を解決できます。



2 3 によって出力制御のリスクが減れば、太陽光パネルの設置ハードルが下がる。